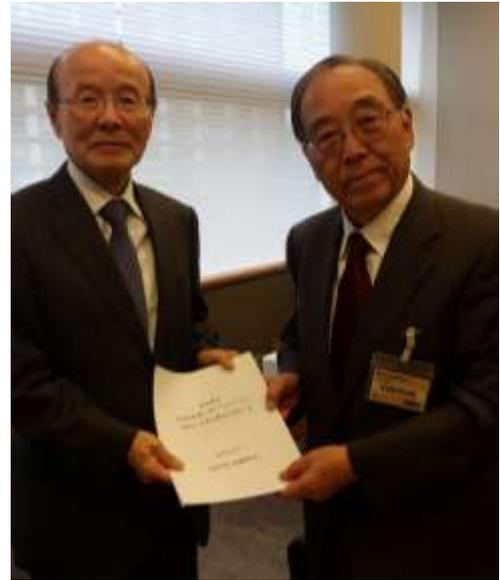
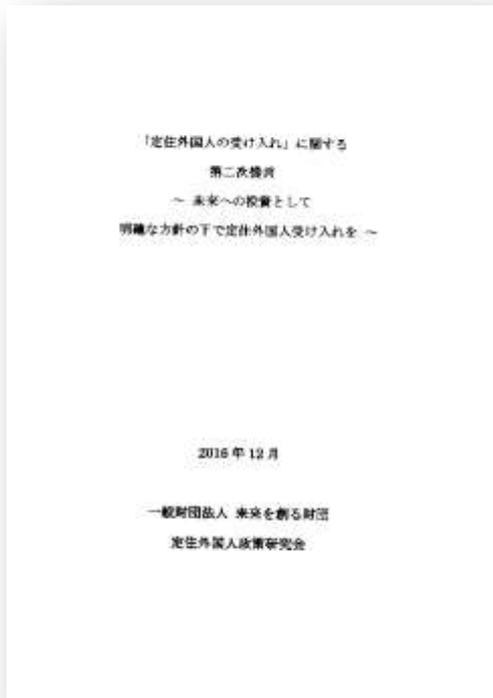




## 2016.12.21 News 「定住外国人受け入れ」に関する[第二次提言](#)

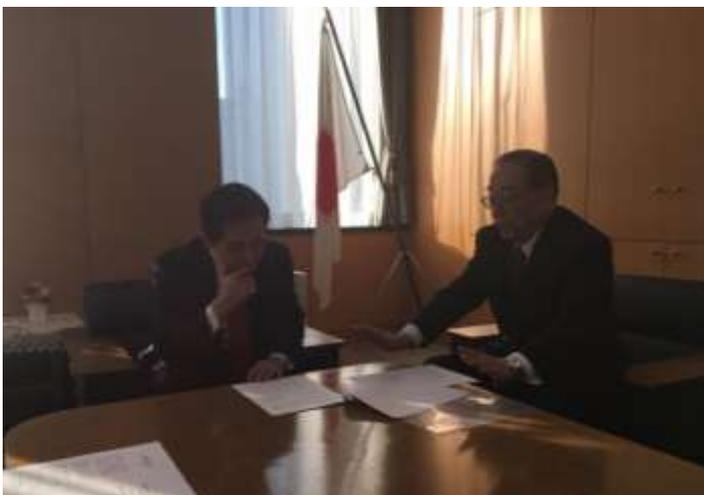
2016年12月16日（金）、官邸に杉田官房副長官を訪ね、定住外国人政策研究会國松座長から「定住外国人受け入れ」に関する[第二次提言](#)を手交した。



写真（上）は、2015年11月16日、[第一次提言](#)を杉田官房副長官に手交する定住外国人政策研究会國松座長（右）。この第一次提言のあと、夏の参議院選挙をはさんで1年、外国人問題に関して、内外とも環境の変化が早かった。

[第二次提言](#)では、内閣官房の他、関係省庁への報告と説明も積極的に行う方針。

まず、2016年12月20日（火）、11月の東京ラウンド冒頭で挨拶いただいた山本幸三内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革）を内閣府に訪ね、國松座長から第二次提言を説明。



山本大臣と記念撮影の國松座長他定住外国人政策研究会メンバー。





ついでメンバーは、同じく2016年12月20日（火）、中央合同庁舎第5号館の厚生労働省に塩崎恭久大臣を訪ね、國松座長から第二次提言を説明。働き方改革の先頭に立つ塩崎大臣から激励を受けた。國松座長（中央左）と塩崎厚生労働大臣（同右）。

政策研究会としては、今後さらに関係省庁や関与の深い国会議員他への説明も準備中だが、まずは以上の経過を含めて周知を図るため、報道関係者の協力を得て、[プレス発表会](#)を行った。

### [「定住外国人受け入れ」に関する第二次提言](#)プレス発表会

日時：2016年12月21日（水）12:00～13:30

場所：日比谷中日ビル（霞が関）シーボニア・クラブ



発表は、定住外国人政策研究会國松孝次座長、同研究会メンバーの石坂芳男未来を創る財団代表理事、毛受敏浩未来を創る財団理事（国際交流センター執行理事）、戸田佑也（株式会社あらまほし）代表取締役の各氏。



時節柄関心の高いテーマのため、全国紙各紙、雑誌社およびテレビ取材他20数名が参加。終了後の個別インタビューも相次いだ。